

平成 30 年 11 月 26 日

# 第 11 回（11 月）

## 定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会



平成 30 年 11 月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 平成 30 年 11 月 26 日 (月) 9 時 30 分

2. 場 所 41 号会議室

3. 出席委員

教育長	永尾 則行
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	泉 亜矢
委員	旭田 國浩

4. 出席事務局職員

教育次長兼教 育振興課長	前田 偉知雄	特命担当次長	清水 良郎
教育審議員	西嶋 徹	生涯学習課長	宮脇 浩司
指導主事	川富 一弘	指導主事	大塚 真史
課長補佐兼 学務係長	畑山 鉄也	給食センター 所長	田上 智子
社会教育係長	馬場 理恵子	スポーツ推進 係長	前田 恵子
文化係長	吉村 麗月		

- 教育長
- 開会宣言 平成 30 年 11 月 26 日（月）9 時 30 分
  - 会議成立の確認（全員出席）
  - 議題、会議の日程等の承認
  - 会議録署名委員の指名

1. 前回会議録の承認
2. 議案

【報告第 18 号 荒尾市「わたしたちの荒尾市」副読本編集委員会委員の委嘱について（教育振興課）】

- 事務局報告
- 質疑

委員 事務局	市民にも「わたしたちの荒尾市」を購入できて、読める機会があればいい。小学校向けの副読本なので、一般の人向けには販売していない。市民向けに広報やホームページ等で情報発信できればと考えている。
委員 教育長	「わたしたちの荒尾市」の改訂版はいつ頃できるのか。平成 31 年度にかけて編集作業を行い、平成 32 年度に発刊を予定している。今の「わたしたちの荒尾市」には平成 23 年度以降の荒尾干潟のラムサール湿地条約や万田坑の世界遺産登録などが載っていない。
委員 事務局	活用方法について、小中学校のすべての先生に読んでもらい、郷土学習や総合学習に活かしてもらいたい。万田坑については、産業振興課や学者にも編集に入ってもらいアドバイスをいただくよう考えている。
委員 事務局	荒尾干潟や万田坑以外で「わたしたちの荒尾市」に載るのか。荒尾市全体の文化関係載せる予定である。また、平成 32 年度から新しくなる学習指導要領では、地域の郷土学習としての「わたしたちの荒尾市」の活用は 3 年生のみになる。第 2 回の編集委員会で、万田坑について、現地見学を行い、認識を深めて他の先生や児童にどう広げていくか検討していく予定。
委員	先生たちにも「わたしたちの荒尾市」を読んでもらい、一般教養として、荒尾市の郷土について知ってもらいたい。

【報告第 19 号 12 月議会補正予算（案）について（教育振興課）】

- 事務局報告
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【その他（熊本県近代文化功労者顕彰式）について】

○事務局説明

海達公子氏（故人）の近代文化功労者顕彰式について、海達公子顕彰会松山会長、教育長、万田小児玉校長、宮脇課長、吉村係長が出席された。

○質疑

各委員 特になし

【その他 12月行事予定について】

○事務局説明

○質疑

各委員 特になし

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第12回定例教育委員会は平成30年12月25日（火）13時30分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第12回定例教育委員会は平成30年12月25日（火）13時30分から開催します。

教育長 ○閉会宣言 平成30年11月26日（月）10時10分

閉議 10時10分 書記 松井 敏彦

上記の会議の顛末について相違ないので署名する。

平成 年 月 日

教育長

教育委員